

LIBRARY NEWS

川口市立高校 No.3(その1) 2024年度 7月号

3年次図書委員

皆さんこんにちは。最近蚊に刺されて遂に夏が始まったなど覚悟を決めました。
さて、今回はジブリ作品の原作を2作紹介したいと思います。



『床下の小人たち』メアリー・ノートン 作 / 林 容吉 訳
岩波少年文庫

この作品は「借りぐらしのアリエッティ」の原作になった作品です。

人間の家や壁にひそかに住み、住んでいる家から生活に必要なものを「借りる」小人の家族の物語です。小人の家族には、人間に見つかってしまったら引っ越さなくてはいけないという掟があります。しかしある日、小人の少女アリエッティはその家に住む男の子に見られてしまい……。

小人たちが何を恐れて不安に思い、なぜ尊厳を大切にしていたのか。私達人間は何を踏み躪るのか。

『思い出のマーニー』ジョーン・G・ロビンソン 作 / 松野正子 訳
岩波少年文庫

映画よりも内容が濃く、思いがけない展開になっています。
身寄りがなく馴染めない養父母と暮らすアンナはノーフォークで一夏を過ごします。孤独で傷ついているアンナはある日マーニーと出会い、心を通わせていくが……。
マーニーは一体どこから来たのか。何者なのか。
二人の少女が出会うことで、彼女たちの未来はどう変わっていくのか。
孤児となったことで過去を失った少女が過去を取り戻す物語。
読み終わるころにはきっと温かい気持ちになることでしょう。

思い出のマーニー
上

ジョーン・G・ロビンソン 作
松野正子 訳



表紙の画像は出版社の許諾を得て掲載しています。

コラム

今回は、かの有名なジブリの原作を紹介しました。ジブリのようにアニメは人物や情景がイラストで表されていますが、本にはそれがないので、自分で、どんな人物なのか、どんな外見をしているのか、どんなところに住んでいるのかなどを想像しながら読むと思います。私はその想像をすることが好きでよく本を読んでいます。

本を読むのがあまり好きでない人もアニメの原作なら読もう！と思うのではないのでしょうか。そんな本との出会いもすごく素敵なことだと思います。